

しんらい

2025.10月
vol.70



6年ぶり大正町おまつり広場『一万人の総踊り』に参加！

7月26日（土）おおむた大蛇山まつり1日目、『1万人の総踊り』に大牟田市介護サービス事業者協議会として参加しました。猛暑日が続く最中、当日は風があり、幸いにも配列は常に日陰という最高のシチュエーション！久しぶりの「炭坑節」「大蛇山ばやし」で、6年のブランクを取り返すかのように後半になるにつれて、次第に息があっていききました。審査が後半なら、きっと1位を獲得していたでしょう。「久しぶりで楽しかった！」「まだ踊り足りない」「また来年も出たい」という声が聞かれ、来年はより多くの方に参加していただけるだろうと期待が膨らみます。

現場交流訪問プロジェクト「キャラバン」をやっています。よろしくお願いします！

当協議会では協議会内の連携を深めることを目的とし、会員事業所の皆様より現場の課題や研修ニーズ及び経営課題などを直接伺い、今後の協議会事業へ反映する現場交流訪問プロジェクト「キャラバン」を実施しています。当協議会役員・部会委員がチームを組み2名程度でお邪魔します。順に事務局からお電話しますので、お忙しいところ恐れ入りますが、受け入れ方よろしくお願いいたします。

- ・事業運営における課題や問題点
- ・実践発表会や各研修会への参加について
- ・協議会への期待 などなど

もくじ

- ・一万人の総踊り
- ・加入法人との現場交流訪問(キャラバン) …… 1
- ・地域認知症サポート多職種連携セミナー …… 2
- ・小規模連絡会 今さらきけない～何でも座談会
「九州ブロック」小規模実践発表交流会 …… 3
- ・認知症コーディネーター養成研修
21期生修了式・23期生開講式 …… 4
- ・永年勤続表彰式 …… 5
- ・定期総会&交流会 …… 6
- ・新旧役員交代挨拶
新規加入会委員紹介 …… 7
- ・☆キラッと輝き☆ケアニン大紹介 …… 8

「地域認知症サポート多職種連携セミナー ✨ ✨ ✨ ✨ & 認知症ケア実践塾2025」を開催しました！



藤田和子先生(左)と金谷佳寿子先生(右)

8月23日(土)大牟田文化会館 第1・2研修室にて、地域認知症サポート多職種連携セミナーと認知症ケア実践塾2025が合同開催されました。地域認知症サポート多職種連携セミナーに至っては、近年はコロナ禍による開催見送りが続いておりましたが、実に、6年ぶりの開催となりました。

今回は鳥取市から藤田和子さんと金谷佳寿子さんをお招きしての講演でした。藤田さんは看護師として仕事をしておられましたが、40代で若年性認知症と診断され、そこから新たな活動を展開して来られました。

認知症になっても自分らしくどう生きるか、2010年に「若年認知症問題に取り組む会・クローバー」を立ち上げられ、そこから社会との関わりの可能性を模索され、認知症当事者としての声を上げて大きく展開して来られました。若くして発症したからこそ、まだまだできることは多く、そこにはご家族だけでなくサポーターの協力を引き出して、認知症当事者の第一人者として全国展開され「一般社団法人日本認知症本人ワーキンググループ(JDWG)」を立ち上げられ、「本人ミーティング」や「ピアサポート」活動などを展開されました。

これらの活動が2018年の「認知症と共に生きる希望宣言」に結実し、さらに「希望大使」としてのご活躍や、共生社会の実現を推進するための「認知症基本法」の法案成立にもつながりました。現在も厚労省の委員としてもご活躍されております。



今回パートナーとして同市包括支援センターの金谷さんが一緒に来られましたが、パートナーは制度上ではなく、本人が選んだ支援者であり、そして、友人でもあるとのことでした。このような活動が全国でつながり、今回も福岡県内外からたくさんの方の参加があり活発な質問もできました。

藤田さんの活動は、デンマークの福祉3原則(人生の継続性、自己決定性、能力の発揮)に基づいていますが、認知症でもまさにこれにも当てはまると感じます。またJDWGが発信した「認知症とともに生きる希望宣言(下記)」は、だれにでもどのような状況でもあてはまり、希望が湧く宣言としてご存知の方も多いと思います。

情報をオープンにできることで孤立せずに協力を得ていく、いつも自分を発揮できるように周りを変えていく、国の政策にも影響を与える藤田さんのエネルギーを感じた講演でした。

(今後も認知症ケア実践塾を開催します。どうぞご参加ください！)



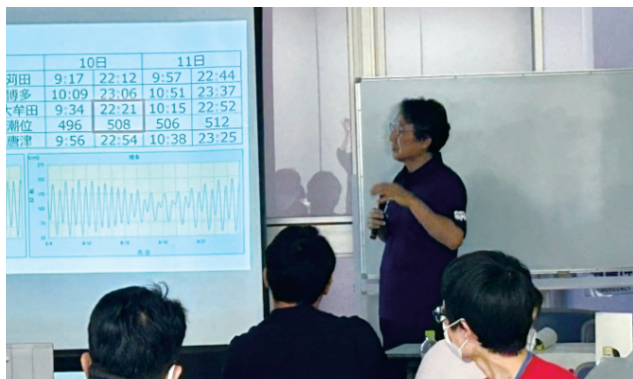
当日は当事者の方をはじめ、会場は多くの方で賑わいました

** 認知症とともに生きる希望宣言 **

- 1:自分自身がとらわれている常識の殻を破り、前を向いて生きていきます。
- 2:自分の力を活かして、大切にしたい暮らしを続け、社会の一員として、楽しみながらチャレンジしていきます。
- 3:私たち本人同士が、出会い、つながり、生きる力をわき立たせ、元気に暮らしていきます。
- 4:自分の思いや希望を伝えながら、味方になってくれる人たちを、身近なまちで見つけ、一緒に歩いていきます。
- 5:認知症とともに生きている体験や工夫を活かし、暮らしやすいわがまちを一緒につくっていきます。

小規模多機能型居宅介護事業所連絡会からの報告とお知らせです

『今さらきけない～何でも座談会』 非常災害対策はどうしてる？を開催しました！



大牟田市防災危機管理室 栗原室長

8月19日(火)大牟田市市民活動等多目的交流施設えるる中研修室にて『今さらきけない～何でも座談会』非常災害対策はどうしてる？』が開催され、風水害の備えとして、大牟田市防災危機管理室室長より講義が行われました。

大牟田でも令和2年7月の豪雨は記憶に新しいかと思えます。

講義では、もしもの備えとして、情報をいかに早く正確に知り、行動に移せるかが利用者様、職員の安全に繋がります。その情報を知るツールとして、気象庁『キキクル』は浸水、土砂、洪水情報が確認でき、分かりやすいアプリとなっています。避難をする前に一度『キキクル』を見て危機が迫っていないか確認し、避難を開始して頂きたいと、情報収集の大切さを強調されました。

災害はいつ、どこでおこるか分かりません。明日は我が身、備えられる災害は意識し備えて行きたいと思えます。

《介護支援専門員の方へお願い》

大牟田市から個別避難計画作成推進事業についての説明があり、在宅で生活されている要介護認定3・4・5の方を担当されてあるケアマネジャーの方は、是非ご協力下さい。詳しくは防災危機管理室までお問い合わせください。

*報奨金1件5,000円



意見交換会の一コマ

『九州ブロック“小規模多機能” 実践発表交流会in大牟田』開催決定！

《九州ブロック》小規模多機能 実践発表交流会 in大牟田が開催決定となりました。なんと!! 13年ぶりに大牟田での開催です。

時は令和8年2月7日土曜日、場所はおおむたアリーナ 多目的ホールを予定しています。

コロナ禍を経て、昨年再開された鹿児島県での交流会では九州各県の事業所から持ち寄られた現場の取り組みや課題を共有する実践発表が分科会形式で行われ、参加者同士刺激を受け合い、濃い時間となりました。

*タイムスケジュール

- 12:00～ 受付開始
小規模ブース・よかもん商店街
 - 13:00～ 開会挨拶
 - 13:10～ 基調講演①
 - 13:50～ 実践発表
 - 15:50～ 基調講演②
 - 16:30～ 大牟田市からのご案内など
 - 16:55～ 閉会
- (上記は予定ですので変更になる場合があります。)

*小規模多機能にお勤めではない方も、参加可能です。

*参加費:大牟田市介護サービス事業者協議会会員・全国連絡会会員2,000円、地域連絡会会員3,000円、上記以外/未加入事業所4,000円(詳しくは、後日サ事協ホームページなどでお知らせします。続報をお待ちください。)

福祉関係の方々、色々な事例を聞いて感じて、介護感、世界観を広めませんか？
皆さんのご参加を心からお待ちしております。



実行委員会を立ち上げ、大牟田らしさを大切に
より良い会になるよう協議を重ねています

おめでとう
ございます

認知症コーディネーター養成研修21期生修了式 & 23期生開講式が開催されました



**修了され晴れやかな表情の21期生の皆さん(後列)、関市長と
2年間伴走してくれたスタッフの皆さん(前列)全ての皆さんお疲れ様でした**

7月12日(土)、認知症コーディネーター養成研修21期生最終課題実習報告会及び修了式が開催されました。

認知症コーディネーター養成研修21期生が2年間学び、実践を繰り返してきた集大成を、最終課題実習とし力強く報告しました。

21期生の報告は、目の前の認知症本人にとことん向き合い、しっかりと対話し、支援やケアを実践した内容ばかりでした。21期生から、成果よりも課題や気づきが多く出てきた所は、当研修期間に、学び・実践を繰り返してきた結果の表れとなりました。改めて、どんな時もパーソンセンタードケアを基本としていくことを胸に刻み、修了後も課題に1つ1つ向き合っていくことを期待しています。

認知症コーディネーター養成研修修了生は、21期生7名の修了により、合計197名となりました。人材不足や育成が悩まれる現代において、修了生たちの日々の実践が、認知症の人の暮らしを豊かなものにしていくことを信じています。

翌日、7月13日(日)には認知症コーディネーター養成研修23期生(5名)の開講式が行われました。これまでと同じ、パーソンセンタードケアを軸としたケアの醸成、まちづくりの牽引役としての育成に力を注いでいきます。



**いよいよ2年間の研修のスタートです。
23期生の皆さん応援してます！
頑張ってください(▽)**

令和7年度永年勤続表彰式 が執り行われました



「令和7年度大牟田市介護サービス事業者協議会 永年勤続表彰式」が、5月23日の定期総会後に執り行われ、介護事業所の介護に携わる職員を対象とした介護分野での長年の功績を称えました。今年度は、10法人から30名の方が受賞され、各法人を代表して6名の方が、緊張の面持ちで式に臨まれました。

この制度は、永年勤続表彰と特別功労表彰が設けられており、今年度は永年勤続表彰のみを対象としております。詳しくは、大牟田市介護サービス事業者協議会に加入している同一法人に通算して10年以上勤務し、法人代表者からの推薦がある介護従事者という要件があります。

井田会長から祝福の言葉と共に受賞者お一人おひとりに表彰状が手渡されました。最後に受賞者を代表して、株式会社銀水会の大道由美子さんが、家族や職場の方々への日頃の感謝の気持ちのこもった謝辞を述べられました。

受賞された皆様をはじめ介護施設の職員の皆様の、今後の更なるご活躍を祈念いたします。



受賞された皆様

石井 恵子	大道由美子	廣瀬 七海
蒲原 司	高山麻友美	守田菜々美
栗原 秀二	高椋 愛子	山下 稲美
巖 一統	中島 知子	吉川 由起
古賀真理子	西山 直樹	龍 喜美
小柳 一樹	林 りえ	渡邊 里穂
瀬戸口朋円		

(敬称略・50音順・公表承諾者のみ掲載)

中堅職員スキルアップ研修 チームワークが発揮できる職場作り 多職種間で円滑なコミュニケーションを取ろう フォロワーシップ・リーダーシップ研修



講師の中園紀明先生

9月20日(土)大牟田市エコサункセンターにおいて、社会福祉法人八女福祉会理事及びNPO法人福岡県ケアマネジメント 研修研究所理事長の中園紀明先生をお招きして、4時間の中堅職員スキルアップ研修が開催されました。市外からも含めて26名の方が参加されました。

講義では、介護現場の実情、事業所の目的や法人理念、プロとしての心構え、事業所の一員であるフォロワーとしての在り方やリーダーに求められることや考え方などについてのお話があり、ワークシートで自分の聞く力・共感する力のチェック、チームワークを学ぶグループワークなど、盛りだくさんの内容でした。

参加者からは、「スタッフから頼られるリーダーになれるよう、研修で学んだことを活かしたい。」「自身の中のリーダーと職員としての部分で悩む場面が多かったが、少しスッキリした。」などの感想が寄せられました。

～丈夫で一番高いストロタワーを目指して～

タワーの頂上に水の入ったカップを乗せても中の水がこぼれず倒れない事。この条件を満たすには、まず作戦会議が大事です。



制限時間内に完成しないと！早く、正確に！皆さん、真剣に黙々と作業に取り組みます。

接戦の結果、4グループが優勝しました！ゲームを通して、設計から組み立てまで、チームの一員として自分の役割りを全うすることの意義を、体感されたのではないのでしょうか。



令和7年度 定期総会 & 交流会

定期総会



去る5月23日(金)大牟田市イノベーション創出拠点aurea(アウレア)において、大牟田市介護サービス事業者協議会令和7年度定期総会が執り行われました。

会場には、大牟田市の中村副市長と大牟田市介護支援専門員連絡協議会の橋口会長をはじめ、多くの方にご出席いただきました。井田会長の開催挨拶に続き、来賓の中村副市長と橋口会長からのご祝辞の後、資格確認報告^(※)の後、株式会社西日本医療センターの國崎光浩氏を議長に選出し、議事へと移り下記議案がすべて承認されました。

役員をはじめ各部会員及び各研究会メンバーで、一年間頑張りますので、皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願いいたします。

※現在の会員法人数62法人に対し、出席26法人と議決権の代理人への委任33法人で合計59法人。過半数に達していることから、令和7年度定期総会の成立

協議事項

- 第1号議案 令和6年度事業実績報告
- 第2号議案 令和6年度決算報告、基金運用状況報告及び監査報告
- 第3号議案 令和7年度事業計画(案)
- 第4号議案 令和7年度予算及び基金運用計画(案)
- 第5号議案 大牟田市介護サービス事業者協議会規約改正について
- 第6号議案 役員改選について



粛々と進行する会の様子

令和7年度事業計画

【1. 全体活動方針】

介護人材の減少や市内高齢者人口の減少等の影響で、事業運営が厳しさを増していく状況下でも、安定的な経営を目指し、業務効率化や生産性向上等を学ぶ研修会などを企画する。

当協議会の在り方について、意見交換会の開催や議論をしていく。

【2. 企画運営部会】

- (1)運営管理
 - ・定期総会の開催
 - ・役員会の開催
- (2)会員事業所の人材育成、確保
 - ・永年勤続者の表彰
 - ・人材確保に関する調査・研究
- (3)運営、経営に資する事業
 - ・生産性向上に関する取り組みの促進
 - ・意見交換会の開催
 - ・DX化に対応する情報提供
 - ・組織の在り方に関する検討
- (4)地域包括ケアシステムに関する調査、研究

【3. 組織広報部会】

- (1)会報誌「しんらい」の発行
- (2)市内外への積極的な情報発信の取り組み
- (3)介護業務のイメージアップ戦略
- (4)異業種との連携について
- (5)会員同士の交流、交流会の促進

【4. 研修事業部会】

- (1)介護サービス実践発表会の開催
- (2)新人職員基礎研修の開催
- (3)地域認知症サポート多職種連携セミナーの開催
- (4)各種研修の開催
- (5)認知症ライフサポート研究会活動支援
- (6)小規模多機能型居宅介護事業所連絡会活動支援
- (7)協議会全体としての研修を検討するために、各研究や各部会と情報交換と連携を密にしていく
- (8)その他、介護事業において必要な研究や研修等を検討・実施する

【5. 地域認知症ケアコミュニティ推進事業(受託事業)】

- (1)認知症コーディネーター養成研修
- (2)認知症になってもあんしんして暮らせる地域作り事業
- (3)地域認知症サポートチーム運営事業
- (4)認知症地域支援推進員派遣事業
- (5)先進地視察及び日本認知症ケア学会等への参加

【6. コンチネンスケア推進事業(受託事業)】

【7. 認知症ライフサポート研究会】

【8. 小規模多機能型居宅介護事業所連絡会】

交流会

定期総会及び永年勤続表彰式が滞りなく終了した後、同会場において交流会が開催されました。近年は、コロナ禍の影響で協議会をあげての開催は見送ってありましたが、6年ぶりの交流会となり、止まっていた時間が再び針を進め始めたような感覚を覚えました。参加された皆様は、久しぶりの再会を喜ばれる方や互いの事業所のスタッフを紹介し合うなど思い思いに過ごされ、会場内は和やかな空気に満たされていました。

組織広報部会からの
お知らせです

部会長交代のご挨拶



組織広報部会を今後ともよろしくお願いいたします！

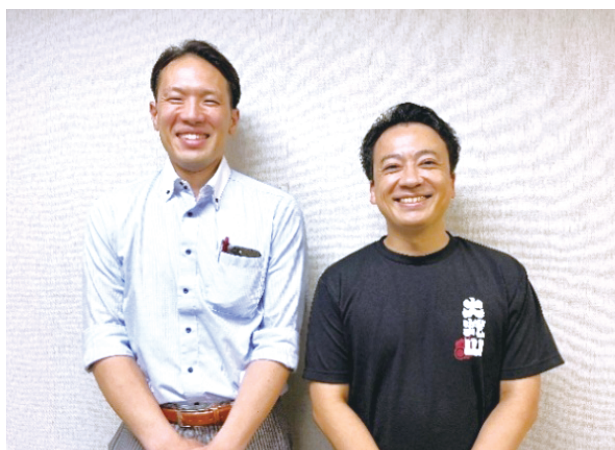
(斎田新組織広報部会長より)

この度、組織広報部会長を仰せつかりました斎田と申します。

前部会長の菅原さんからご相談をいただいた時は、正直私にはそんな大役は務まらないと思いましたが、今の組織広報部会は会員同士とても仲が良く、皆さん優しく心強い方々ばかりなので、前部会長には遠く及びませんが、新部会長として皆さんと力を合わせて頑張っていきたいと思っております。

広報誌「しんらい」や「ヨカケアおおむた」の作成を通して、さまざまな取り組みや現場の魅力があることを学びました。そんな中で広報誌「しんらい」は、各種研修やイベントの情報発信という大事な役割がありますが、それだけではなく、現場の魅力をより多くの方に情報発信していけるようにしていきたいと思っております。

コロナ禍以降、介護業界を取り巻く環境は年々厳しくなっており、会員同士の交流も少なくなっています。会員同士のつながりをもっと広く、より強くしていけるような組織広報部会を目指していきたいと思っております。



斎田新組織広報部会長(左)
菅原副会長(旧組織広報部会長)(右)

(菅原旧組織広報部会長より)

正直、バトンを渡せたというほっとした気持ちと、そのことによる少しの寂しさ、どちらもあります。とくに大変だったのはコロナの時期。交流を促進したいのに、それが叶わない。収束後も各事業所の不安は消えず、一体感も大きく揺らぎました。だからこそ、今も“一歩ずつ取り戻す”しかない、と腹をくくってやっています。

その中でも本当にうれしかったのは、この部会に若く意欲あるメンバーがたくさん集まってくれたこと。どの部会より人数も多く活気もあると自負しています。活動の中でもみんなが一丸となって動いてくれる姿に何度も力をもらいました。部会運営で大切にしてきたのは「まず楽しいこと」。仕事で来ているわけじゃないからこそ、みんながやりたいと思えること、関わる意味を感じられることを基本にしてきました。結果、誰かに言われる前に自発的に動いてくれる人がどんどん増えたのが、いちばんの財産です。

『しんらい』づくりを通じて学んだのは、「出来事」よりも「人」を伝える大切さ。現場の温度や想いに光を当てる——それが広報の役割だと実感しました。これまで支えてくれた皆さんに感謝しつつ、これからは斎田さんの色で、さらに“等身大で強い広報”へと育っていくのを楽しみにしています。

組織広報部会は、シンプルに、現場の価値を社会に伝え、事業所同士のつながりを強くすることを目的としています。介護の世界で活躍する仲間一人一人が主役になれるよう支える「縁の下の力持ち」であれたらと思っています。

新規会員事業所紹介

Sal-world-network株式会社

訪問看護ステイドリーム

〒836-0023 大牟田市中島町3-4

T E L 0944-85-3345

F A X 0944-85-5685

私たち訪問看護ステイドリームは、「～人と人をむすぶ、人と地域をむすぶ、人と笑顔をむすぶ～生活と保健・医療・福祉をむすぶ訪問看護」をモットーに、利用者様おひとりおひとりに寄り添った看護を目指し、日々頑張っております。いつまでも夢のある生活を送れるように支援します。よろしくお願いたします。



サ事協LINE公式アカウント 登録よろしくお願いたします。

組織広報部会では、新たに協議会のLINE公式アカウントを作成し、会員事業所の職員の皆さんへの情報提供を目指しています。

介護に関するお役立ち情報や研修・イベントのご案内などをお届けしますので、皆様友だち登録をお願いします。



LINE公式アカウント
2次元コード

★
松井さんの

☆キラッと輝き☆ケアニン大紹介

第7回の「☆キラッと輝き☆ケアニン紹介」は、社会福祉法人博愛福祉会 小規模多機能型ホームよしのホーム長として勤務されている坂井愛佳さんのご紹介となります。いつもステキな笑顔で元気一杯な坂井さん。こちら元気をもらってます。広い視野を持ち前向きな所は、若いころの経験に裏付けされているのですね。今の仕事を目指したきっかけや仕事をするうえでのモットーやプライベートな事など、色々聞いてみました。坂井さんの人となりに迫っていきたいと思います。

～今の仕事を目指したきっかけ～

福岡育ちなのですが、10代の時にもっといろいろな世界を見たいという思いから北海道に行きました。その時に所属していた法人がグループホームを運営していて、そこで働いたのが始まりでした。福岡に戻ってきてからも介護の仕事が続いています。

～仕事をするうえでのモットー～

まずはケアを提供する私たちが健康であることです。そうでないと絶対に質の高いケアは提供できないと考えるからです。そのためにストレスをため込まないように心がけ、工夫しています。スタッフ同士で談話したり、適度に運動したりしています。とてもいい環境で勤務させていただいており、感謝しています。



社会福祉法人博愛福祉会
小規模多機能型ホームよしの

さかい あいか
坂井 愛佳さん



～休日の過ごし方・趣味など～

時間がある時パン作りをしています。ツナパンやピザパンが好きです。ただし、現在は子どもたちと過ごす時間に多くを割り当てていますし、とても楽しい時間です。映画に行ったり、川遊びなどのアウトドアによく行きますね、また、お酒を飲むことや韓国ドラマ観賞も好きです。

～最後に自由に一言～

実は今、大きな目標があって、ケアマネジャーを取得したいと思っています。そのために時間をみつけて勉強しています。あとは、子どもたちに『世界で一番ママが怖い』と言われてしまっているので、もう少し優しいママになることも目標です。(笑い) 今後もわたしらしくをスローガンに頑張りたいです。

インタビューを終え

☆ポジティブガール！というフレーズがぴったりな印象の坂井さん。日々の業務の中でも坂井さんと触れ合う利用者様が喜び情景が思い浮かぶようでした。

私も今度、以前焦がしてしまっていて以来挫折していたウインナーパン作りにもまた挑戦してみようと思います！（笑い）

坂井さん、どうもありがとうございました。

編集・発行 大牟田市介護サービス事業者協議会 組織広報部会（部会長 齋田豪堅）

事務局：大牟田市福祉課内 住所：大牟田市有明町2丁目3番地

TEL：0944-85-0470 FAX：0944-41-2662

ホームページ <http://omutakaigo.net>